

郡	町村	大字	字	地番	地目	反別	種	賃	借	料
							類	年	額	

前書ノ土地ニ對シ賃借人ハ左ノ各項ヲ契約ス

一、賃借期間ハ大正二十年五月末日限リトス

但シ賃借人ヨリ解除セムトスルトキハ浸種準備以前ニ地主ヘ通告スルコト

二、賃借料ハ翌年一月三十一日迄地主指定ノ場所ニ於テ支拂フコト

三、賃借料米ハ大分縣穀物検査規則ニ依リ合格シタルモノタルコト

四、賃借人ハ地主ノ承諾ヲ經スシテ賃借權ノ處分ヲ爲ササルコト

五、左記各項ノ場合ニ於テ請求アリタルトキハ無條件ニテ本契約ヲ解除スヘシ

(イ) 賃借料ヲ期限内ニ皆納セサルトキ

(ロ) 地主自ラ耕作又ハ賣買若シクハ必要ニ迫リタルトキ

(ハ) 賃借人カ契約ニ違反シタルトキ

前記ノ地所賃借致候ニ就テハ各條項合意ノ上連帶責任ヲ負フ保證人ト連署ノ賃借證書差入候也

年 月 日

住所

賃借人 何 某 ㊦

住所

保證人 何 某 ㊦

何 某 殿

備考 地主小作人協定上作成セルモノナリ

宮 崎 縣

一九一九

（契約解除、小作料ノ品質、小作地使用ニ關スル制限）

土地賃貸借證書

一玄米 何程 但一ヶ年分

今般貴殿御所有ニ係ル末尾記載ノ土地前記ノ借地料ヲ以テ拙者小作致候ニ付テハ左記ノ事項ノ契約仕候

第一、借地期限ハ大正 年 月ヨリ同 年 月迄 ケ年トシ其期間ノ滿了ニヨリ本件賃借契約ハ何等ノ意思表示ヲ俟タスシテ解除ニ歸シ拙者ハ賃借土地返還スルハ勿論土地ノ占有モ別段ノ行爲ヲ俟タスシテ同時貴殿へ移轉アリタルモノト確認ス

第二、借地料ハ三等米以上ノモノヲ貴宅又ハ御指定ノ附近倉庫ニ拙者ノ自辨ヲ以テ納入ス

但天候其他不可抗力ニヨリ三等米以上ヲ生産シ能ハサルトキハ四等米ヲ以テ代納スコルトヲ得

第三、借地料ハ翌年一月三十一日限り支拂フモノトス

右小作料ノ支拂ヲ怠タリタルトキハ縦令一部滞納ノ場合ト雖モ其支拂期限ノ經過ニ因リ本件契約ハ當然解除ニ歸シ拙者ハ賃借土地ヲ返還スヘク該返還ニ付キテハ別段ノ行爲ヲ俟タスシテ解除當日占有ノ移轉アリタルモノト確認ス

第四、貴殿力賃借土地ヲ交換賣買若クハ自作セラル、場合ニ於テハ期限内ト雖モ何時タリトモ御申越當日本契約ハ當然解除ニ歸シ拙者ハ借地ヲ返還スヘク該返還ニ付テハ別段ノ行爲ヲ俟タスシテ解除當日占有ノ移轉アリタルモノト確認ス

但此場合ニ於テハ既ニ施シアル肥料ハ貴殿相當ト認メラル、限度ニ於テ代金支拂相成度

第五、桑樹果樹茶樹其他永年性植物ハ貴殿ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ決シテ栽培致ササル事 若シ此特約ニ違背シタルコトヲ御認メ相成候節ハ小作期間内ト雖モ御申越ノ日限迄ニ本件契約ハ當然解除ニ歸シ土地ヲ原狀ニ復シテ其植物ヲ收去ノ上返還スルモノトス該返還ニ付テハ別段ノ行爲ヲ俟タスシテ解除當日占有ノ移轉アリタルモノト確認ス

第六、借地ハ耕作以外ノ目的ニ使用セス其他地盤ニ變更ヲ加ヘサルコト及地目ヲ變換セサルコト境界畦畔等ヲ變更セサルコトハ勿論轉貸又ハ小作料未納ニテ立毛、粗、玄米ヲ賣渡質入書入スルコトハ絶對ニ爲ササルコト 若シ此特約ニ違背シタル時ハ貴殿ノ御申越當日本件契約ハ當然解除ニ歸シ拙者ハ借地ヲ返還スヘク該返還ニ就テハ別段ノ行爲ヲ俟タスシテ解除當日占有ノ移轉アリタルモノト確認ス

第七、第一、第三、第四、第五、第六ノ土地返還ノ場合當時耕作中ノ作物ハ拙者ニ於テ成熟期ノ如何ニ拘ハラス御申越ノ日限迄ニ全部收去スヘク若シ同日ヲ經過スルモ收去セサルモノアルトキハ其物ニ對スル權利一切ハ當然貴殿ノ有ニ歸シタルモノト確認ス

拙者ハ前項ノ場合貴殿ノ申越日限前貴殿力次ノ耕作ニ必要ナル準備的利用ノ範圍内ニ於テ間作其他ノ行爲ヲ爲サル、ニ對シ作物ニ有害ナル理由ヲ以テ異議ヲ挾マサルコトヲ確認ス

右契約堅ク履行可致仍テ借地人及保證人連署ヲ以テ土地賃借證書一札差入候也

大正十 年 月 日

西諸縣郡

村大字

番地

何 某殿

借地ノ表示

西諸縣郡飯野村大字何字何何番

一土地面積表示

此借地料

何程

西諸縣郡飯野村大字何字何何番

一土地面積表示

此借地料

何程

西諸縣郡飯野村大字何字何何番

一土地面積表示

此借地料

何程

西諸縣郡飯野村大字何字何何番

土地面積表示

此借地料

何程

備考 本證書ハ縣内地主組合ニ於テ作成セルモノナリ

西諸縣郡

借地人 何

番地

某 ㊦

保證人 何

某 ㊦

村大字

五 特種小作證書

五 特種小作證書

一 永小作證書

秋 田 縣

1100

市町有開墾地永小作契約書案

一、土地ノ表示

何地先何番圍

一、反 別 何反何畝何步

此小作料 何程

前記田地ニ關シ所有者秋田縣南秋田郡一日市町長何某永小作人同郡同町字何某外何名ハ左記各項

ニ依リ協約ヲ以テ永小作契約ヲ爲ス

記

- 一、本契約ニ依ル永小作存續期間ハ昭和二年四月二十八日ヨリ滿二十年トス
- 二、小作料ハ毎年十一月末日限リ秋田縣生産米検査規則ニヨル其ノ年ノ合格米ヲ以テ所有者ノ指定スル場所ニ納付スルコト但シ其ノ年ノ作況ニ依リ小作米ノ等級ヲ低下スル必要アル時ハ別ニ定ムル處ニ依リ之レヲ決定ス
- 三、永小作人ハ所有者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ永小作權ノ賣買讓渡轉賃賃入書入其ノ他永小作地ノ義務トナルヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス
- 永小作人カ前項ノ規定ニ反シ永小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲シタル時若クハ他町村ニ轉住シタル場合ノ本契約ハ解除ヲ爲スコトヲ得永小作人ハ之レニ對シ異議ヲ陳フルコトヲ得ス
- 四、永小作人ハ小作地ニ土地改良ノ目的ヲ以テ特殊ノ施設ヲ爲サントスル時ハ其ノ設計ニ付所有者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 五、前項ニ依リ永小作人ノ爲シタル施設カ未タ效果ヲ舉ケツ、アル際期間中契約解除ヲ爲ス場合ハ所有者ハ永小作人ニ對シ現ニ改良セラレタル土地ノ狀況ヲ參酌シ當初ノ費用ヲ越ヘサル範圍内ニ於テ相當ノ代償ヲ仕拂フコトヲ要ス
- 六、契約期間内ニ於テ小作地カ公用徵收其ノ他公益上必要ナル處分ノ目的トナリ契約解除ノ必要ヲ生シタル

場合ハ其ノ年度ニ於ケル收穫ヲ妨ケサル限リ何時ニテモ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

- 七、小作地返還ノ場合ニ於テ小作地ニ耕作物現存セル時ハ永小作人ハ所有者ニ對シ時價ヲ以テ之レヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得但シ永小作人カ信義ニ反シ故意ニ買取ラシムル目的ヲ以テ作付ヲ爲シタル耕作物ニ付テハ此ノ限リニ在ラス
- 八、水害其ノ他ニ依リ小作地ノ收穫カ平年作ヨリ二割以上減收見込ノ場合ハ調停條項ニ基キ契約小作料ヲ相當減免スルモノトス
- 但シ減收ノ原因檢見坪刈調査小作料減免額ノ協定ハ別ニ定ムル處ニヨル
- 九、小作地ノ收穫カ平年作ニ比シ二割以上增收ノ場合ハ別ニ定ムル處ニ從ヒ永小作人ハ一定量ノ共同積立ヲ爲シ土地改良其ノ他ノ費用ニ充當スルコトヲ要ス
- 十、開墾小作地沖先ノ葎植付並ニ水路ノ浚渫ハ所有者ニ於テ施行スルコト
- 十一、各園ノ永小作人ハ本契約ニ對シ每園連帶シテ義務ヲ負擔スルモノトス但シ堤防外ハ其ノ小作地ニ對シ保證人連帶シ義務ヲ負擔スルモノトス
- 十二、永小作人カ期限内若クハ期限滿了ノ際自己ノ小作地ヲ購入セントスル場合ハ所有者ハ秋田縣自作農創設維持規則ニ依リ該小作地ヲ讓渡スルコトヲ得
- 十三、當事者ハ本契約條項ヲ確保シ相互ノ福利ヲ増進スル爲メ一日市町有開墾地管理委員會ヲ設立シ本契約條

項施行細目ノ實行ヲ期スルモノトス
十四、第三項永小作權ノ賣買讓渡其ノ他ノ行爲第五項乃至第六項有益費ノ償還價格第七項耕作物買取價格第二
十二 項小作米等級ノ決定第八項乃至第九項ノ收量調査概見小作料減免率積立金及第十項工事施行ニ關シテハ
當事者ハ前項管理委員會ノ意見ヲ聽キ町會ニ於テ之レヲ定ムルモノトス

年 月 日

南秋田郡一日市町

土地所有者 何

某

同 郡同 町

某

協約永小作人 何

某

(本證書ハ調停條項ニヨリ秋田縣小作官ノ立案セルモノナリ)

長野縣

1101

一(小作料滞納ノ處置、契約解除)

永小作證券

大郷村大字船町

何番何組

一、土地面積表示

立附米

何斗何升何合

同上

何番何組

一、土地面積表示

立附米

何斗何升何合

立附米合計 何程

前記土地左記條件ヲ以テ永小作仕候

一、立附米八年々十二月三十日限リ其時價代金ヲ以テ管理者村役場ヘ納附スルコト

二、前期限滞滯候時ハ金百圓ニ付キ日歩四錢五厘ノ利率ヲ以テ利子ヲ支拂可申候

三、一ヶ年ノ小作米代並ニ利子ノ納附翌年三月ヲ經過シタル場合ハ永小作權ハ何等ノ通知若クハ催告ヲ要セ
ス直ニ消滅シタルモノト爲シ且ツ永小作地ハ其時ニ於テ返還スルコト

四、本小作地ニ對シ區會カ小作立附米増額ノ決議ヲ爲シタル時ハ異議ナク之ニ服從シ更ニ其永小作證券ヲ差
出スヘキコト若シ之カ永小作證券ヲ差出サ、ルトキハ違約トシテ永小作權ノ消滅シタルモノトナスコト

右之通契約致候處確實也依テ之ヲ遵守可致候爲後證永小作證券仍テ如件

大正四年 月 日

大郷村大字船町

小作人 何

某 ㊦

保證人 何

某 ㊦

大字船町區有財産管理者

大郷村長 何 某 殿

11011

小作證

下伊那郡大島村大字大島字猿垣外千四百四十番

一、田 八畝三步

同上同字

一、田 一反二步

同上同字

一、田 六畝十六步

合反別二反四畝二十一步

此下作米六俵也

但シ一俵四斗入

前書ノ土地貴殿ヨリ永遠ニ至ル迄拙者ニ於テ下作仕リ候處相違無之候然ラハ年々秋作取揚次第貴
殿居宅迄金額相納可申候其様相定メ候上ハ聊方貴殿へ御迷惑相懸ケ申間敷候依テ小作證差入置候
也

明治三十九年九月二十日

何 某 殿

下伊那郡大島村 番地
小作人 何 某 ㊦

愛 知 縣

1103

（契約更新、契約解除、永小作權ノ處分）

永小作權設定爲取替契約證書

幡豆郡平坂町大字西小柳新田字四ノ切下繩七十三番

一、田 一段六步 外八步畦畔

此小作料一ヶ年玄米九斗六升二合

右土地ニ對シ今回小作人ノ申出ニ依リ地主何某ハ左ノ契約ヲ以テ何某ノ爲メ永小作權ヲ設定

ス

一、小作料ノ支拂時期ハ毎年十二月三十日限リトス

但期日後六十日以内ニ小作料ノ全額ヲ支拂ハサル時ハ永小作權ヲ失フモノトス

一、小作料ハ上等玄米ヲ以テ支拂ヒ差シ米一石ニ付一升二合五勺宛トシ俵裝ハ四斗入皮俵太繩付入念拵ヲ爲スヘキモノトス

一、小作料ハ如何ナル場合ニ於テモ免除又ハ減額ヲ請求スルコトヲ得ス

但地主ニ於テ元西小柳新田全部ノ大凶作ト認ムル時ハ其年ニ限り幾分ノ減額ヲ爲スコトアルヘシ

一、小作權ノ存續期間ハ明治三十二年七月十五日ヨリ滿四十年トス但但滿期ノ上ハ更ニ繼續スルコトヲ得 此場合ニ於テハ當事者合意ノ上小作料ノ改正ヲ爲スコトヲ要ス

一、永小作權ハ幡豆郡平坂町中細村奥津村寺津村西野町村碧海郡志貴崎村大濱町ノ八ヶ村ニ在籍居住スルモノヲ除ク外他人ニ讓渡スルコトヲ得ス

一、永小作權ハ賃貸スルコトヲ得ス

此契約證書ハ二通ヲ作り各一通ヲ所有スルモノ也

明治三十二年七月十五日

幡豆郡平坂町大字平坂

番 戸

地 主 何 某 ①
幡豆郡奥津村大字下矢田 番戸
永小作人 何 某 ②

二〇四

〔永小作權ノ處分〕

永小作證券

知多郡名和村大字名和字二番割上六十一番

田 五畝十一歩 外七歩畦畔

掬米四斗七升五合

右之土地私小作者タル儀ニ候處實正也然ル處地租改正ニ因テ貢租増加相成候ニ付前記ノ通り掬米ヲ改正シ該小作地ニ對シ約定スル條左ノ如シ

一、永小作期間ハ明治三十一年七月十六日ヨリ向フ滿五十箇年ト相定ム

一、掬米收納ノ義ハ毎年十二月十日以前ト相定メ其十日以内ニ於テ御差圖ノ日限リ名和前新田中御指定ノ場所へ可差出候事

但シ事故有之候節ハ掬米期日限ノ義ハ幾分御差延彼下候筈

一、米品俵拵等精擇可致候尤御改メノ上枘切有之候節ハ速ニ其不足米相償可申候事

一、不作ノ年柄ニ際シ御檢見ノ上相當御定相成候引米ニ對シ異議申間敷候事

一、從前差出シ來リ候地懸リ米懸リ御地主ヨリ差圖ノ日限遲滯無之可差出候事

一、掬米淹滯ヲ始メ小作ノ義務ヲ盡サ、ルトキハ請人ノ者其責ヲ負フコト

一、該地ノ永小作權ヲ他人ニ賣買讓渡候節ハ御地主ノ承認ヲ受ケ其引渡シ證券ニ奥書ノ上ニアラサレハ決シテ執行致間敷候事

但シ相續又ハ遺産相續贈與ノ時ハ承繼人ヨリ地主ニ届出ル事

一、永小作權移轉登記申請ニ要スル權利者義務者負擔ノ費用ハ悉皆小作人ニ於テ負擔致候事

一、向來貢租増減有之節ハ尙掬米増減可致候事

右ノ趣聊カ違背致間敷依テ永小作證件ノ如シ

明治三十一年七月十六日

知多郡名和村大字名和

番戸

永小作人 何 某
同郡同村大字名和 番戸
受人 某

滋賀縣

二〇五

(小作料ノ改定、契約解除、小作地使用ニ關スル制限)

永小作證

土地所有者及永小作人ハ本證書ニ添付スル記載ノ土地ヲ左記ノ條件ヲ以テ永小作權設定ノ契約ヲ爲ス

第一條 永小作人ハ本件ノ土地ヲ耕作ノ爲ニ使用スルモノトス

第二條 小作料ヲ一ヶ年上玄米 石 斗 升 合トシ毎年 月 日ニ支拂フヘキ事

小作米ノ品質俵造ハ滋賀縣米質改良組合規約ニ從フモノトス但一俵四斗一升ノ内一升ハ升切レトシ小作人ノ損失トシテ之ヲ計算ス

第三條 永小作期間ヲ向フ 箇年トス

第四條 永小作期間中本件土地ノ負擔スヘキ諸税及公課ノ増加又ハ物價ノ騰貴ニ依リ土地所有者ニ於テ前記ノ増加又ハ騰貴ノ額ニ比例シタル小作料増加ノ通知ヲ爲シタルトキハ永小作人ハ之レニ合意スヘキヲ豫メ承諾ス且既定ノ小作料ハ風水害並ニ旱魃ノ際ト雖モ減額セサルモノトス

第五條 耕作ノ爲ニスル溝渠其他必要ノ費用ハ永小作人ノ負擔トス

第六條 永小作人カ土地改良ノ爲必要ノ工事ヲ爲サントスルトキハ土地所有者ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス然ラサレハ土地所有者ハ之レカ費用ヲ償還ノ責ニ任セス

第七條 永小作人ハ土地ニ損害ヲ生スヘキ變更ヲ加フル事ヲ得ス

第八條 永小作人ハ其權利ヲ他人ニ讓渡シ又ハ權利ノ存續期間内ニ於テ耕作又ハ牧畜及其他ノ目的ヲ以テ土地ヲ賃貸スルコトヲ得ス

第九條 永小作人ハ土地所有者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ民法第二百七十五條ノ場合ト雖モ其權利ヲ拋棄スルコトヲ得ス

第十條 永小作人ハ土地耕作ノ爲相當ノ肥料並ニ勞力ヲ加ヘ土地ヲシテ荒蕪ナラシメサル様注意スヘキ者ト

ス

第十一條 保證人カ其保證ニ堪ヘサルトキ又ハ他ノ事由ニヨリ保證人ノ變更ヲ要スヘキ場合ニ於テ永小作人ハ土地所有者ノ請求ニヨリ速カニ更ニ相當ノ保證人ヲ立ツルカ又ハ相當ノ擔保ヲ供スヘキ事

第十二條 永小作權ハ左ノ事由ニ依リテ消滅ス

第一 永小作人カ第二條及第四條ノ支拂ヲ爲ササルトキ

第二 永小作人カ第七條第八條及第十條ノ義務ニ違背シタルトキ

第三 第三條ノ期間中ト雖モ土地所有者ヨリ契約解除ノ通知ヲ爲シタルトキヨリ一箇年ヲ經過シタルトキ

第四 永小作人カ破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ又ハ其居所カ一箇年間知レサルトキ

第十三條 保證人ハ永小作人ト連帶シテ前記各條ノ義務ヲ負フコトヲ約ス

大正 年 月 日

縣 郡 村大字

永小作人 何

某 ㊦

縣 郡 村大字

保證人 何

某 ㊦

土地所有者 何 某 殿

何縣何郡何村大字何

一畑

何畝何歩

二〇六

小作證書

一、土地 何反何畝何歩

此小作米 何斗何升

右地所大正何年ヨリ大正何年迄滿三十ケ年間米何石何斗小作致サセ候處實正也然ル上ハ年期中ニ家事都合ニテ該地賣渡ス様ナ事出來候ヘハ小作人ト協議ノ上賣渡シ決シテ地主自儘ニ他ヘ賣渡ササル事依テ土地小作證書如件

大正 年 月 日

小作人 何 某 ㊦

地主 何 某 殿

廣 島 縣

二〇七

（契約更新、契約解除、小作料改定）

永小作權設定契約書

今般地主所有ニ係ル末記土地二個ニ付永小作權設定ヲ契約スルコト左ノ如シ

- 一、本契約ニ於テ地主ヲ甲者永小作人ヲ乙者ト稱ス
- 二、永小作權ノ持續期間ヲ大正五年一月一日ヨリ大正五十四年十二月三十一日迄五十年間トス
- 三、前項ノ期間滿了ニ依リ永小作權ノ消滅ヲ來シタル場合ニ於テモ双方協議ノ上契約ヲ更新スルコトアルヘシ
- 四、小作料ヲ一ヶ年末記ノ通トス乙者ハ毎年十二月末日限其年度ノ永小作料ヲ甲者ニ支拂フコト
永小作地ノ收穫カ平年作ヨリ減少シタルトキハ甲者ハ舊來ノ慣習ニ從ヒ被害ノ實況ニ應シ永小作料ノ減額又ハ免除スルコト
- 五、乙者ニ於テ二ヶ年間引續キ永小作料支拂ヲ怠リ又ハ破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキハ永小作

權ハ何等手續ヲ要セスシテ當然消滅スルモノトス

- 六、地目變換ニ據リ租稅公課ノ増加ヲ來シタルトキハ其ノ差額金ハ年度ヨリ既定ノ永小作料ニ加ヘ之ヲ甲者ニ支拂フコト、ス減少ヲ來シタルトキハ他ノ地所ニ比準シ永小作料輕減額ヲ定メ翌年度ヨリ之ニ據ルコト
- 七、乙者ハ地目變換地形變更ニ付甲者ノ承諾ヲ經ヘキハ勿論ナレトモ若シ之ニ違背シ前記ノ行爲ヲ爲シタル場合ハ甲者ニ於テ永小作權ノ消滅ヲ請求スルヲ得
甲者ニ於テ前項ノ請求ヲ爲サ、ルトキ乙者ハ永小作權ノ終了期ニ於テ原狀ニ回復シ甲者ニ返還スルコト尤モ甲者ニ於テ之ヲ容認シタルトキハ此限ニアラス
但シ本項ニ關スル損害ハ双方共互ニ請求セサルコト
- 八、乙者ニ於テ永小作權ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ヲ賃貸シタルトキハ乙者ヨリ又家督相續開始ノ場合ハ其家督相續人ヨリ遲滯ナク其旨ヲ甲者ニ通知スルコト
- 九、甲者ニ於テ土地保存ニ付必要ナル工事等ヲ施スヘキ場合ニハ永小作人ニ於テ之ヲ拒絶スルヲ得サルハ勿論爲ニ損害ヲ被リタルトキト雖モ甲者ニ向テ之カ賠償ヲ要求スルヲ得サルコト
- 十、乙者ニ於テ土地保存ノ爲必要ノ費用ヲ支出スルモ甲者ニ對シ之ヲ請求セサルコト
但シ大工事ニシテ乙者ノ負擔ニ堪ヘサルモノハ豫メ甲者ニ協議スヘシ
- 十一、天災地變ニ依リ土地ノ全部又ハ一部ヲ滅失シタルトキハ乙者ハ甲者ノ検査ヲ受ケタル上永小作料ノ減額

右契約ヲ確守スヘキ爲本證ニ通ヲ作製シ各一通ヲ所持スルモノトス

大正五年一月一日

東京市本郷區向ヶ岡彌生町 番地

地 主(甲者) 何 某

廣島市荒神町 番邸

右代理人 何 某

廣島縣御調郡中庄村 番地

永小作人(乙者) 何 某

土地ノ表示

御調郡中庄村油屋新關ル印四千七百八十番地

一、田 四畝八步

永小作料一ヶ年玄米二斗二升三合

同郡同村同字ヲ印四千八百二十四番地

一、田 四畝四步

永小作料一ヶ年玄米一斗三升五合

登記第四四四號
順位第一號

受	年	月	日
付	大正	八年	十一月十七日
ノ	番	號	第一七三八號
登記	濟		



德島縣

二〇八

永小作權設定契約證書

(註) (甲)(乙)ハ編者ニ於テ便宜挿入シタルモノナリ
土地所有者何某(甲)ト永小作人何某(乙)トノ間ニ於テ左記ノ土地耕作ノタメ永小作權設定契約ヲ
締結スルコト左ノ如シ

一、德島縣名東郡沖洲村末廣新田字元張八番
一、田 一反四畝八步

第一條 永小作權ノ存續期間ハ民法施行ノ日ヨリ向フ五十年即チ明治三十一年七月十六日ヨリ明治八十一年七月十六日迄トス

第二條 何某(乙)ハ小作料トシテ一反步ニ付米六斗四升ノ割合ヲ以テ毎年十一月三十日限り末廣新田ニ於テ何某(甲)ノ所定スル場所ニ持參シ支拂ヲ爲ス可キモノトス

第三條 凶作ノ場合ハ何某(乙)ノ通知ニヨリ土地所有者及小作人立會ヒ檢見ノ上至當ト認ムルトキハ小作料ノ幾分ノ減額ヲナスコトアルヘシ尙又甚敷凶作ノ場合ハ收穫物ヲ折半シ納入スルコトアルヘシ

第四條 何某(乙)ハ此ノ永小作權ヲ他人ニ讓渡シ若クハ質入ナス場合ハ何某(甲)ニ通知ス可キモノトス
第五條 何某(乙)ハ本契約ノ目的タル耕作以外ニ土地ヲ使用スルコトヲ得ス

第六條 何某(乙)ハ土地ニ變更ヲ爲シタル時ハ明渡ノ際之ヲ原形ニ復シテ返還スルコトヲ要ス
第七條 何某(乙)小作料ノ支拂ヲ二ヶ年以上怠リタル時ハ勿論本契約所定ノ義務ニ違反シタルトキハ催告ヲ要セス單ニ通知ノミヲ以テ直ニ土地明渡シノ要求ニ應ジ且ツ其ノ當時地上ニ現存上毛ハ當然土地所有者ノ

所有ニ歸ス可キモノナルコトノ特約ヲ承諾シタリ

右契約證書ハ二通ヲ作り各自其一通ヲ分有スルモノナリ

明治四十二年七月一日

大阪市西區靱北通四丁目 番地

土地所有者 何 某 ㊦

德島縣名東郡沖洲村末廣新田 番屋敷

永小作人 何 某 ㊦

德島 已
裁判所

明治四十三年二月二十三日
申請書受附第一二六六號登記

高 知 縣

契約證

（小作物帶納ノ處置、小作地ニ係ル負擔、小作權ノ處分）

何郡何村字何何番

一、田 何反何畝何步

舊本田（新田）

此小作料一ヶ年玄米 何斗何升何合

右土地ハ古來永久期ニ永小作權ヲ設定シ存續ノ處民法施行ノ爲合意ノ上左ノ事項ヲ契約ス

一、永小作權存續期間ヲ明治三十一年七月十六日ヨリ向フ五十年限リトス但シ期間滿了ノ際地主小作人協議ノ上相當權利ノ價格ヲ定メ有價ヲ以テ土地ノ處分ヲ爲スモノトス

一、永小作人ハ小作米ヲ毎年十二月二十五日限リ該地ニ産スル上米ヲ精撰シ一俵（四斗入）ニ付玄米三合ノ割合ヲ以テ上リ米ヲ入レ地主ノ居宅ニ着拂ヲナスモノトス但シ支拂期ヲ經過シ督促ヲ受ケタルトキハ小作米一斗ニ付毎月玄米三合ノ割合ヲ以テ遲滯利子ヲ附加スルモノトス

一、右土地ニ係ル地租金及諸公課諸費金ノ増減ニ拘ラス一切永小作人ニ於テ負擔シ期日迄ニ辨納スルモノトス

一、土地ノ變遷地租ノ増減其ノ他ノ事由ニヨリ地租金及諸公課諸費金等ニ増減ヲ生スルモ渾テ永小作人ノ損益ニ屬シ地主ハ小作米ヲ變更セサルモノトス

一、永小作權ノ移轉其ノ他實權抵當權ヲ設定セムトスルトキハ永小作人ハ豫メ地主ノ承諾印ヲ受クルモノトス尤モ地主ハ左ニ該當スル場合ハ權利ノ移轉其ノ他實權抵當權ノ設定ヲ否認スルコトヲ得ス

一、小作米及地租公課其ノ他諸費金ノ滯納ノトキ

一、地主ニ於テ所有權ヲ移轉スル場合ハ永小作人ニ通知スルモノトス

一、永小作人ニ於テ永小作權ヲ移轉セントスル場合ハ其ノ三者ニ對シ本契約ヲ承諾セシメ本契約ト同一ノ契約證書ヲ地主ニ差入ルル義務アルモノトス

一、永小作人ニ於テ永小作權ヲ質入又ハ抵當トスル場合モ亦第三者ヘ承諾セシメシテ移轉又ハ質入抵當トナシ契約書ノ差入レヲ爲サシメス爲メニ地主ハ損害ヲ生シタルトキハ永小作人ニ於テ直チニ之レカ賠償ノ責ニ任スルモノトス

一、不可抗力又ハ人爲其ノ他ノ事由ニヨリ收穫米ノ減少若ハ皆無トナルモ地主ニ於テハ小作米ノ減額又ハ免除ヲセサルモノトス尤モ水害ノ爲荒蕪地トナリタルトキハ永小作人ノ請求ニヨリ地主ハ荒地免租ノ出願ヲ爲シ免租ノ許可アリタルトキハ其期間ハ地主ニ於テ其ノ被害ニ屬スル土地ノ部分ニ對スル小作米ヲ免除スルモノトス

一、永小作人ニ於テ地形ヲ變更シ或ハ宅地ニ變換シ又ハ合地分地ヲナサントスルトキハ必ス地主ノ承諾ヲ受

タルモノトス

一、右土地ノ用器水路井堰堤防土手開等ノ保存又ハ修繕改築ノ費用及荒蕪地ノ復舊ニ要スル費用等ハ一切永小作人ニ於テ負擔支辨スルモノトス

一、永小作人ニ於テ契約期日迄ニ小作米ノ着拂ヲナサス地租公課諸費金負擔ヲ拂出テサル時地主ノ督促ニ應セサル場合ハ本契約ヲ解除シ作付ノ有無ニ拘ラス無償ニテ土地ヲ絶對ニ引上クル事ヲ得ルモノトス

一、前項ノ場合ニ於テ保證人ハ永小作人ト同一義務ヲ負擔シ相連帶シテ債務及損害額ノ請求ニ應シ即時辨償スルモノトス

一、保證人ニ於テ前項ノ義務ヲ果シタル場合ハ保證人へ無償ヲ以テ本契約其ノ儘締結スルモノトス

一、永小作人カ破産ノ宣告ヲ受クルモ永小作權者ノ債權者ニ於テ永小作人カ本契約上負擔スル義務ヲ履行シタル時ハ地主ハ小作權ノ消滅ヲ請求セサルモノトス

一、本契約ニ關シ提起スル訴訟ハ同意ヲ以テ高知區裁判所ヲ管轄裁判所トス

右確約ノ證據トシテ今後雙方異議ナキ爲本證ニ通ヲ作成シ地主及小作人各一通ヲ保存スルモノトス依テ契約證書如件

年 月 日

郡 村字 番地

地 主 何 某 ㊦

郡 村字 番地

永小作人 何 某 ㊦

郡 村字 番地

保證人 何 某 ㊦

郡 村字 番地

一(小作地ニ係ル負擔、永小作權ノ處分)一

1110

永小作宛附宛リ受證

何郡何村何大字何字何番

一、田 何程 外何筆

合計反別 何町何反何畝何歩

此地租金 何圓何錢何厘

此宛口米 何石何斗何升何合何勺何才

右地所宛附宛リ受ニ付約定スルコト左ノ如シ

第一條 右地所 廉ニ對スル永小作人ノ義務即チ正加治子米竝地租諸掛物等ハ拙者共何名連帶シテ負擔辨濟致シ可申事

第二條 右地所ノ正加治子米ハ米 石 斗 升 合 勺 才ト定メ西分村大中相場ヲ以テ相拂可申事

但シ年ノ豊凶ヲ不論上納管

第三條 前條加治子米附拂期限ハ毎年十二月二十五日限り皆濟致可申事

第四條 右地所ニ係ル地租地方稅村稅其他地所ニ係ル負擔ハ一切拙者共ニ於テ負擔致シ而シテ地租等ハ一切代納致シ可申事

第五條 若シ加治子米附拂期限ヲ一日タリトモ經過スル事有之カ又ハ不都合ナル所爲有之候時ハ御請求ニ相成次第直様地所揚渡可申事

第六條 前條々ノ義務ヲ盡シ其他不都合ノ所爲無之時ハ右地所ハ永年御宛附ケ被下管

第七條 拙者共ノ内ニテ宛リ受株ヲ他へ賣買讓渡スル時ハ其證書へ御承印被下管尤モ右賣買讓渡ニヨリ小作人ノ替ル者アリトモ其ノ替リタル者ハ相連帶シテ萬般ノ義務ヲ相立テ可申事
但本文賣買讓渡ノ都度御通知ヲ受クル管

右者今般貴殿御所有之地所前記ノ通り宛リ受申處確實也若シ本人ニ於テ義務ヲ盡サス候時ハ連帶者ヨリ直様代償致シ可申候爲後日宛リ受證如件

明治二十九年

高知市種崎町

地 主 何

某 印

安藝郡西分村長谷寄

永小作人 何

某 印

同 何

某 印

同 何

某 印

同 何

某 印

同 何

某 印

二 刈分小作證書

長野縣

二二一

小作證書

福島町二千八百七十一番地

字塩淵

一、田 五畝九步

地價金九圓五十四錢

右前書之地所御預リ今明治十九年ヨリ明治二十五年迄六箇年小作可致示談相整ヒ候處確實也然ル

上書面約定之義ハ每年秋揚之節該所ニ於テ御立會之上稻ニテ刈分ケ必貴宅ニ相納可申候殘半作之分ハ小作費トシテ被下管最右地所荒作リハ勿論都テ不都合之廉等有之候節ハ地所御引揚小作人御差替エ被下候共聊カ苦情申間敷候爲後日請人連署小作證書依而如件

明治十九年十二月 日

小作人 何 某 某
請人 何 某 某

地主 何 某 殿

二二二

小作證書

一、田 一反五畝步

柵村大字祖山何番地
字中峯

右拙者小作致シ候ニ付テハ左ノ條項堅ク相守リ可申候

一、稻ハ刈取ノ際貴殿御出張ヲ相煩シ貴殿ト五分五分ニ刈分ヲナス事

- 二、小作期限ハ大正 年 月ヨリ大正 年 月迄滿何年ト相定メ候事
 - 三、小作地ニ係ル諸稅公課以外ノ水利費協議費等ハ一切拙者負擔ニ候事
 - 四、拙者ニ於テ爲シ得ル小作地ノ修繕改良ハ一切拙者ノ負擔ニ候事
 - 五、契約解除セラレタル時又ハ滿期返還ノ際ハ現狀ニ復シ御引渡シ申ヘク候事
- 右條々無相違相守リ可申候爲後日ノ小作證書依テ如件

大正 年 月 日

住所

小作人 何

某 印

地主 何 某 殿

岡山縣

二二三

契約書

合名會社藤田組(以下甲ト稱ス)ハ其ノ開發セル岡山縣兒島農場ニ於ケル農耕ヲ直營スル爲メ何某(以下乙ト稱ス)ヲ採用シ乙ハ之ニ從事スルコトヲ約諾シタルニ依リ相互ノ幸福ヲ増進スル目的ヲ以テ左記各條ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス

第一章 總則

- 第一條 乙カ從事スル耕地ハ本書末尾ニ記載セル田計 町 反 畝歩トス
- 第二條 本契約ノ存續期間ハ大正 年四月一日ヨリ大正 年三月三十一日迄トス
- 第三條 乙ハ甲ノ定ムル經營上ノ規則及指示ニ違背スルコトナキハ勿論農場ノ平和及秩序ノ維持ニ勉ムヘシ
- 第四條 本契約ニ關シ甲乙間ニ意見ヲ異ニスルトキハ別ニ定ムル協調委員會ノ調停ニ從ヒ可成圓滿ナル解決ヲ期スヘシ但シ之カ爲訴訟ノ權利ヲ妨ケサルモノトス

第二章 勞務

- 第五條 乙ハ甲ノ指示ニ從ヒ耕種培養調製收納ノ業務及其ノ附帶竝ニ共同ノ作業ヲ辨ス但插秧及收納ニ要スル勞力ノ一部ハ甲ノ見込ヲ以テ補充ス
 - 第六條 役畜及通常ノ農具ハ甲ノ指示ニ從ヒ乙之ヲ負擔ス其ノ他ノ農業用器具ハ甲ノ提供スルモノヲ用フ
- 廐肥ハ全部耕地ニ施用ス

耕地ノ周圍ニ於ケル除草及畦畦ノ小修繕ハ乙之ヲ負擔ス
乙ハ甲ノ指定スル場所ニ居住シ乙及乙ノ家族又ハ雇人ニテ耕地五町歩ニ對シ男子二人五分ノ割合ト甲カ認
ムル勞力ヲ常備スルコトヲ要ス

乙ハ甲ノ設備セル乙ノ居住ニ要スル保存及修繕費トシテ月額金 圓 錢ヲ負擔ス
第七條 乙カ代人ヲ使用セムトスルトキハ豫メ甲ノ承諾ヲ要ス

乙又ハ其代人休業セムトスルトキハ甲ニ申出ツルモノトス
乙カ副業ヲ營マントスルトキハ甲ノ承諾ヲ要ス

第八條 乙ノ供給スヘキ勞力又ハ畜力カ不足セルカ若クハ乙カ作業ヲ粗放ニシ又ハ之ヲ怠ルトキハ甲ハ任意
乙ノ計算ニ於テ乙ノ業務ヲ處辨スヘシ

第三章 報酬

第九條 乙ノ勞務ニ對スル報酬計算期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トシ乙カ業務ヲ完了シタル
トキハ甲ハ其ノ報酬トシテ左ノ割合ニ依ル現品ノ支給ヲ爲スヘシ

- 一、玄米ハ乙ノ從事セル耕地收穫高ヨリ稻ノ種苗費肥料費第五條但書ニヨル勞力補充費ヲ甲カ決算期迄ニ
任意賣却シタル當該農區ノ玄米平均單價ニ依ル換算石數並ニ當該計算期ニ於ケル農業用機械器具費ト
シテ一反歩ニ付玄米一斗ヲ控除シタル殘額ノ十分ノ 分 厘トス
- 二、屑米ハ直營地生産總高ノ平均反當額ヲ從事段別ニ乘シタル額ノ十分ノ 分 厘トス

前項各號ノ報酬物ハ各品質ノ生産物ヲ按分シテ支給ス

稻粟ハ實收量ノ十分ノ ヲ支給ス

乙ハ甲ノ指定セル土地凡一畝歩ヲ菜園トシテ無償使用スルコトヲ得
裏作ニ關スル報酬ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 收穫高ノ決定ハ脱穀ノ際甲其ノ量目ヲ査定シ更ニ當該農區直營地全部ノ收穫物ヲ混納調製ノ上其ノ
實收總量ヲ査定收量ニ割當テ、之ヲ定ム

但シ甲ハ立毛ニ付先ツ之ヲ査定スルコトヲ得
甲カ糶ヲ換算シテ支拂フ必要アル場合ハ五分五厘摺ノ割合ヲ以テス

甲カ現品支拂ヲ爲シ得サル場合ハ其ノ支拂期ニ於ケル時價ヲ標準トスル甲ノ見込額ヲ支拂フコトヲ得
第十一條 報酬ノ支拂時期ハ三月末日トス但甲ハ其ノ前ト雖モ乙ノ請求ニ依リ收穫物ノ幾部ヲ報酬トシテ内
渡スルコトアルヘシ

第十二條 不可抗力ニヨリ玄米收穫高反當リ三斗以上ナルトキハ其ノ收穫物ノ全部ヲ乙ニ給與ス

第十三條 甲ハ乙カ毎計算期間ニ於ケル業務ヲ完了シタリト認ムルトキハ甲カ定ムル安定基金及備荒基金ノ
規定ニ基ク支給ヲ爲ス但シ前條ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第四章 契約ノ終了

第十四條 乙ノ都合ニ依リ耕作人ヲ辭セムトスルトキハ一ヶ月前ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ甲ニ申出ツルコトヲ

要ス

第十五條 乙若クハ乙ノ代人ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ甲ハ直チニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

一、契約ニ違背セル場合

二、農事ニ不熱心ニシテ改善ノ見込ナシト甲カ認メタル場合

第十六條 乙ノ都合ニ依ル解約ノ場合ニ於テ米作ノ調製完了セルトキハ甲ハ第九條ニヨル全額ヲ支給シ若シ

調製未了ノトキハ作業月數作況及業程等ヲ參酌スル甲ノ見込額ヲ支給ス前條各號ノ場合亦同シ但甲ノ爲損

害賠償額ヲ控除スルコトヲ妨ケス

第十七條 契約ヲ解除スルカ又ハ契約ノ更新ヲ認メサルトキハ契約終了ノ日ヨリ二十日以内ニ乙ノ住居ヲ明

渡スコトヲ要ス

前項ノ期間經過スルモ乙カ甲ノ經營地内ニ構設シ又ハ持込ミタル物件ヲ撤去セサル爲事業上支障アル場合

ハ甲ハ撤去其ノ他適宜ノ處置ヲ爲スコトヲ得

右契約ヲ證スル爲メ本證ニ一通ヲ作り當事者双方各自一通ヲ保有スルモノ也

大正 年 月 日

大阪市北區堂島北町二十番地

合名會社藤田組

指定代理人兒島農場長 何

某 ㊦

愛媛縣

二二四

小作證書

一、田 二反歩

上浮穴郡參川村大字
本川乙何番地ノ第一

右ハ拙者小作致候ニ付左ノ條項嚴守可申候事

一、右土地ニテ作りシモノハ收穫ノ際貴殿ノ御出張ヲ煩シ貴殿五分小生五分宛分配致スコト

岡山縣兒島郡

村字 番地

耕作人 何 某 ㊦

岡山縣兒島郡

村字

右保證人 何 某 ㊦

二、小作期間ハ大正五年一月ヨリ大正十年一月迄五ケ年ト相定メ候コト
右二項無相違相守可申萬一小作人ニ於テ違背候節ハ保證人ニ於テ辨償ノ義務相盡シ可申仍爲後日
小作證書如件

大正十五年一月一日

上浮穴郡參川村大字本川 番地

小作人 何 某 ㊦

上浮穴郡參川村大字本川 番地

保證人 何 某 ㊦

地主 何 某 殿

高 知 縣

二二五

小 作 證 書

- 一、稻ハ收穫ノ際地主ノ出張ヲ相煩シ地主六分小作人四分ノ割合ニテ分配候事
 - 二、小作期間ハ大正十一年ヨリ同十五年十月迄五箇年間ト相定候事
 - 三、小作地ニ係ル諸稅以外ノ水利費協議費等ハ一切小作人ニ於テ負擔スルコト
 - 四、水害其ノ他ニ依リ土層ノ崩壞流出墜石ノ爲其ノ修繕改良ハ地主ニ於テ一切負擔候事
- 右條々無相違守リ可申爲後日小作證各一通ヲ分有ス

年 月 日

二二六

郡 村 番地

小作人 何 某 ㊦

郡 村 番地

地主 何 某 ㊦

三 請負耕作證書

岐 阜 縣

二二六

土地耕作請負契約書

稻葉郡茜部地内ニ於ケル別記ノ何某(甲)所有ノ土地今般何某(乙)大正十五年度耕作請負タルニ依リ契約スル事左ノ如シ以下何某ヲ甲トシ何某ヲ乙トス

- 一、茲ニ所謂土地耕作請負トハ田打ニ始リ脱穀ヲ以テ終了スルモノトス
- 一、前項記載ノ田打ヨリ脱穀ニ至ル作業ニ付キテハ乙ハ當地地方ノ慣習ニ從ヒ忠實ニ之ヲ行フ義務ヲ負フ
- 一、乙ハ作業ノ終了シタルト同時ニ遲滞ナク甲ニ之ヲ通知シ收穫糶ノ引渡ヲ爲ス可キモノトス
- 一、甲ハ收穫糶ノ引渡ヲ受クルト同時ニ乙ニ對シ耕作土地一反歩ニ付キ金ノ割合ヲ以テ請負報酬ヲ

與フル事

- 一、前項ノ報酬ハ甲ノ選擇ニ依リ耕作土地一反歩ニ付キ玄米ノ割合ヲ以テ與フル事ヲ得ルモノトス
 - 一、收穫糶ノ引渡ニ付キ乙不正ノ行爲アリタル時ハ甲ハ請負報酬ヲ與フル事ヲ要セス
 - 乙ハ甲ノ請負報酬不支拂ヲ理由トシテ收穫糶ノ引渡ヲ拒ム事ヲ得ス
 - 一、甲ハ耕作請負土地ノ收穫高ニ應シ乙ニ對シ左記ノ割合ヲ以テ賞與ヲ與フルモノトス
 - 一、前項收穫高ハ甲之ヲ決定シ乙ハ其ノ決定ニ對シ異議ヲ申出テサル事
- 右契約ヲ確證スル爲メ本證書ニ通ヲ作成シ當事者署名捺印ノ上各一通ヲ領置スル者也

大正 年 月 日

稻葉郡茜部村

土地所有者 何

某 (印)

稻葉郡茜部村

土地耕作請負者 何

某 (印)

愛 知 縣

耕作請負契約書

今般貴殿(以下甲ト稱ス)ト拙者(以下乙ト稱ス)トノ間ニ於テ名古屋地方裁判所大正十四年八月十日附小作調停調書ノ趣旨ニ基キ乙カ從來ノ請作關係アル甲所有ノ別紙地所ニ付大正十五年度耕作ニ關シ其ノ請負契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

一、本請負ハ肥料農具其他生産ニ關スル一切ノ諸材料ヲ乙ニ於テ供給自辨トシ産米ハ玄米俵裝任上ノ上制規ノ檢査ヲ受クルモノトス

二、請負ハ凡テ直營トシ下請負又ハ之レニ類似ノ方法ニ依ルコトヲ得サルモノトス

三、乙ノ受クヘキ報酬ハ田面ニ付テハ左表ノ如ク決定ス

但シ地租免除地ニ限リ全收穫ヲ乙ノ報酬トス

實 收 高

報 酬

一、玄米二石以上二石二斗迄

五割

但シ二石二斗ヲ超過スル實收高ハ全部乙ノ報酬トス

一、玄米一石七斗以上

五割五分

一、玄米一石五斗以上

六割

一、玄米一石三斗以上

七割

一、玄米一石三斗未滿

八割

畑作ニ付テハ報酬ハ豊凶ニ拘ハラズ收穫高反當玄米二石ト定メ其五割トス

乙ハ次項ニ依リ産米ヲ甲ニ引渡シタル後ニアラサレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

四、乙カ甲ニ第一項ニ依ル産米ヲ引渡スヘキ時期ハ大正十五年十二月二十五日限リトス

五、收穫高ノ算定ハ甲乙ヨリ選出シタル各二名宛ノ委員ノ外何某又ハ甲ノ選定スル第三者ヲ加ヘタル五名ノ評定委員ニ於テ實地ニ付キ檢見ニ基キ之ヲ爲スモノトス

檢見ノ方法ハ坪刈ニ依ル而シテ坪刈ヲ爲ス場合ニハ右評定委員立會ノ上各字ニ付キ收穫高ノ平均ヲ期スル爲メ三ヶ所ヲ選定シ甲ノ人夫ヲシテ其刈取等一切ノ行爲ヲナサシムルモノトス
坪刈實施ノ場所ニ付協議不調ノ時ハ官公吏ノ立會ニ依ル
坪刈糶摺ノ場所ヘハ右委員及前記人夫ノ外何人モ立入ルコトヲ得サルモノトス

六、糶摺ノ歩合ハ五分摺トス

七、稻ノ刈取ハ早、中、晚ヲ問ハス凡テ檢見完了後トス若シ乙カ檢見完了前刈取ヲナシタルトキハ其部分ニ付テハ一反二石二斗ノ實收アリタルモノト看做ス

減收カ乙ノ怠業又ハ故意過失ニ因ルトキハ右問題ノ實收アリシモノト看做ス

本件地所公益事業ニ供セラル、場合ニハ甲ハ其部分ニ付キ何時ニテモ本契約ヲ解除スルコトヲ得
右請負契約成立ノ證トシテ本證ヲ作成シ記名調印スルモノ也

大正 年 月 日

名古屋市 區 町

何 某 ㊦

何 某 殿

備考 本證書ハ爭議調停ニ當リ他日本證書關係土地カ工場敷地トナリタル場合ノ土地返還ヲ豫想シ其ノ際
ノ紛議ヲ避ケル爲ニ請負契約トナシ締結セルモノナリ

奈 良 縣

二二八

契 約 證

拙者今般貴會社トノ間ニ土地ノ耕作事業請負ニ付左ノ請負契約ヲ締結ス以下拙者ヲ甲トシ貴會社
ヲ乙トス

一、甲ハ乙ノ指圖ニ從ヒ昭和 年度ニ於ケル末尾記載ノ土地稻作ニ關シ刈取時期迄ノ總テノ農作事業ヲ請
負フモノトス 穀種及肥料ハ總テ乙ヨリ之ヲ支出ス

一、甲ニ於テ請負事業ヲ完成シタル時ハ乙ハ甲ニ對シ請負料トシテ左記土地ニテ成熟セル稻ノ百分ノ三十ヲ
立毛ノ儘支拂フモノトス

一、乙ハ甲ニ於テ請負事業ヲ怠リ又ハ故意若シクハ過失ニ因リ乙ニ損害ヲ生ス可キ虞アリト認ムル時ハ其後
ノ事業ヲ自ラ遂行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得此場合ニ於ケル費用ハ甲ノ負擔トス
若シ乙ニ於テ之ヲ支出シタル時ハ甲ニ對シ直ニ之ヲ請求シ若クハ請負料ト差引勘定ヲ爲スコトヲ得尙其
他ニ損害ヲ生シタルトキハ甲ハ總テ賠償ノ義務ヲ負フ

一、天災事變又ハ其他ノ事由ニ依リ收穫ヲ得ルコト能ハサルトキハ甲ハ請負料ヲ請求スルコトヲ得ス

一、土地ニ植付ケタル稻ハ固ヨリ乙ノ所有ニ屬スルヲ以テ甲ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

右條項ヲ確ク相守リ決シテ違背任間敷候爲後日土地耕作請負契約證如件

昭和 年 月 日

請負人 甲

百濟農業合名會社 乙

記

北葛城郡百濟村大字百濟何番地 田 何程

備考 本證書ハ地主タル會社カ年々ノ小作爭議ノ煩ニ堪エストテ自作シ得サル土地ヲ賣却セン爲其ノ前提トシテ請負契約トナシタルモノノ證書ナリ

二一九

賣買契約證

拙者今般貴會社トノ間ニ末尾記載土地上ノ作物ニ付賣買契約ヲ締結ス

以下拙者ヲ甲トシ貴會社ヲ乙トス

- 一、昭和 年度(昭和 年一月一日ヨリ同年十二月末日迄)ニ於ケル末尾記載ノ地上ニ生育セル梨樹ノ果實ヲ乙ヨリ甲ニ賣却スルモノトス
- 一、甲ハ該土地ノ耕耘除草施肥剪定手入其他一切ノ作業及肥料代ヲ負擔スルモノトス
- 一、果實ハ作柄ノ豊凶ニ拘ハラズ昭和 年十二月末日限り同年度産奈良縣米穀検査丙上以上ノ合格米何斗何升何合若シクハ之ニ相當スル時價ノ全額ヲ甲ヨリ乙ニ賣買代價トシテ仕拂フモノトス

右條項ヲ確ク相守リ決シテ違背仕間敷候爲後日賣買契約證如件

昭和 年 月 日

請負人 甲

百濟農業合名會社 乙

記

北葛城郡百濟村大字百濟何番地 田 何程

備考 本證書ハ前掲證書關係地中ノ果樹園ニ關スルモノニテ地主ハ土地返還ノ際其ノ上ニアル果樹ヲ買收シタル上舊小作人ヲシテ本證書ニヨリ耕作セシメ成熟セル果實ハ從來ノ小作料額ヲ以テ小作人カ全部買受クルコト、セルモノナリ

三三〇

契約書

拙者今般貴殿トノ間ニ左ノ契約ヲ締結ス

以下拙者ヲ甲ト稱シ貴殿ヲ乙ト略稱ス

第一 甲ハ乙ノ指圖ニ從ヒ昭和 年度ニ於ケル貴殿御所有ニ係ル末尾記載ノ土地ノ裏作及裏作ニ關シ作物ヲ成熟セシムル迄ノ總テノ農作事業ヲ請負フコト但シ一定量ノ種及肥料ハ乙ヨリ之ヲ支給ス

第二 甲ニ於テ前記表作ヲ完成シタル時ハ乙ハ甲ニ對シ本件土地ノ收穫高ノ百分ノ ヲ報酬トシテ支拂フモノトス但シ總收穫高カ反當二石八斗ヲ越ユル時ハ超過ヲ賞與トシテ乙ハ之ヲ甲ニ與フ

甲カ前記裏作ヲ完成シタルトキハ乙ハ甲ニ對シ其收穫高ノ二分ノ一ヲ金 圓 錢ニテ買受クルコトヲ得

第三 乙ハ甲ニ於テ農作事業ヲ怠リ又ハ故意若クハ過失ニ因リ乙ニ損害ヲ生ス可キ虞レアリト認ムル時ハ其ノ後ノ事業ヲ自ラ遂行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル費用ハ甲ノ負擔トス尙其他ニ損害ヲ生シタル時ハ甲ハ總テ賠償ノ義務ヲ負フ

第四 天災事變又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ收穫ヲ得ルコト能ハサルトキ及前項ノ場合ハ甲ハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第五 土地ノ毛上作物ハ固ヨリ乙ノ所有ニ屬スルヲ以テ甲ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

右確約爲後日仍如件
昭和 年 月 日

奈良縣 郡 村大字

岡山縣

地主 乙殿

小作人 甲

縣	郡	町大字
字	名	地
		番
		段
		別

備考 本證書ハ地主カ年々ノ小作料減額問題ノ煩ニ堪エサルト小作法草案施行後ノ土地所有權ニ對スル影響等ヲ考慮セル結果請負契約トナシ締結セルモノノ如シ

二二二

契約書

合名會社藤田組(以下甲ト稱ス)ハ其ノ開發セル岡山縣兒島農場ニ於ケル農耕ヲ直營スル爲メ其ノ耕作ヲ何 某(以下乙ト稱ス)ニ請負ハシメ乙ハ之ヲ約諾シタルニ依リ相互ノ幸福ヲ増進スル目的ヲ以テ左記各條ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス

第一章 總則

- 第一條 乙カ從事スル耕地ハ本書ニ記載セル田計 町 段 畝トス
- 第二條 前條ノ耕地ハ依然甲ノ占有ニ屬スルヲ以テ地上ノ作物ハ特ニ引渡シヲ要セス當然甲ノ所有ニシテ且其ノ占有ニ屬ス但シ乙ハ其ノ耕作ニ要スル勞役ノ結果ニ對シ右作物ヲ以テ甲ヨリ報酬ヲ受クヘシ
- 第三條 本契約ノ存續期間ハ大正 年 月 日ヨリ大正 年 月 日迄トス
- 第四條 乙ハ甲ノ定ムル經營上ノ規則及指示ニ違背スルコトナキハ勿論農場ノ平和及秩序ノ維持ニ勉ムヘシ
- 第五條 契約ニ關シ甲乙間ニ意見ヲ異ニスルトキハ別ニ定ムル協調委員會ノ調停ニ從ヒ可成圓滿ナル解決ヲ期スヘシ、但シ之カ爲メ訴訟ノ權利ヲ妨ケサルモノトス

第二章 勞務

- 第六條 乙ハ甲ノ指定スル場所ニ居住シ其ノ家族等ニテ耕地ニ對シ男子一人七分ノ割合ト甲カ認ムル勞力ヲ常備シ甲ノ指示ニ從ヒ耕種、培養、收納、調製ノ業務及其ノ附帶並共同ノ作業ヲ辨スヘシ

第七條 役畜及普通ノ農具ハ甲ノ指示ニ從ヒ乙之ヲ負擔ス其ノ農業用機具ハ甲ノ提供スルモノヲ用フ、耕地

ノ周圍ニ於ケル除草及畦畔ノ本修繕ハ乙之ヲ負擔ス

乙カ甲ノ設備セル家屋ニ居住スル場合ハ乙ハ保存及修繕費トシテ月額金 圓 錢ヲ負擔ス

第八條 乙ハ本契約ニヨリテ有スル權利ヲ他人ニ讓渡又ハ委任シ若クハ下請負セシムルコトヲ得ス

乙カ補助者トシテ使用人ヲ雇入レントスル時ハ豫メ甲ノ承諾ヲ要ス

乙及其ノ從業者休業セントスル時ハ甲ニ申出ツヘシ

第九條 乙ノ供給スヘキ勞力又ハ畜力ノ不足セルカ若クハ乙カ作業ヲ粗放ニシ又ハ之ヲ怠ル時ハ甲ハ任意乙ノ計算ニ於テ乙ノ業務ヲ處辨スヘシ

第三章 報酬

第十條 乙ニ對スル報酬計算期間ハ毎 年 月 日ヨリ翌年 月 日迄トシ乙カ其ノ業務ヲ完了

シタル時ハ甲ハ其ノ報酬トシテ左ノ割合ニ依ル現品ノ支給ヲ爲スヘシ

一、米作ハ乙ノ從事セル耕地ノ稻粃收穫高ヨリ種子トシテ一反歩ニ付良質ノ粃五升及別ニ定ムル計算法ニ依ル肥料代ヲ控除セル殘額ノ十分ノ 分 厘トス

但シ甲ハ其ノ報酬中ヨリ當該計算期間ニ於テ乙カ使用セル甲ノ農業用機具費トシテ反當リ玄米二升五合ノ割合ヲ控除ス

二、稻藁ハ實收量ノ内肥料トシテ還元スル四割及第六條ノ作業用藁ヲ除キタル殘額トス

裏作ニ關スル報酬ハ別ニ之レヲ定ム

乙ハ甲ノ指定セル土地凡一畝歩ヲ菜園トシテ無償使用スルコトヲ得

第十一條 米作ノ報酬支拂後期ハ甲ノ所得額ヲ共同作業ニテ玄米ニ調製シ倉入終了後一ヶ月以内トス、但シ

甲ハ其ノ前ト雖モ乙ノ請求ニヨリ收穫物ノ幾部ヲ報酬トシテ内渡スルコトアルヘシ

第十二條 收穫高ノ決定ハ脱穀ノ際甲其ノ量目ヲ査定シテ決定ス但シ甲ハ立毛ニ付査定スルコトヲ得

甲カ稻粃ヲ玄米ニ換算シテ支拂フ必要アル場合ハ五分五厘摺ノ割合ヲ以テス

甲カ現品ノ支拂ヲ爲シ得サル場合ハ其ノ支拂期ニ於ケル時價ヲ標準トスル甲ノ見込額ニヨル

第十三條 不可抗力ニヨル粃ノ收穫高反當リ玄米ニテ四斗二升以下ナル時ハ其ノ收穫物ノ全部ヲ乙ニ供給ス

第十四條 甲ハ乙カ毎計算期間ニ於ケル其勞務ヲ完了シタリト認ムル時ハ甲カ定ムル耕作獎勵備荒基金及安

定基金ノ規定ニ基ク支給ヲ爲ス但前條ノ場合ハ此ノ限りニアラス

第四章 契約ノ終了

第十五條 乙ノ都合ニ依リ請負ヲ辭セムトスルトキハ一ヶ月前ニ書面ヲ以テ其旨ヲ甲ニ申出ツルコトヲ要ス

第十六條 乙竝家族又ハ使用人ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ甲ハ直ニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

一、契約ニ違背スル場合

二、農業ニ不熱心ニシテ改善ノ見込ナシト甲カ認メタル場合

第十七條 乙ノ都合ニヨル解約ノ場合ニ於テ米作ノ調製完了セルトキハ甲ハ第十條ニ依ル全額ヲ支給シ若シ

調製未了ノトキハ作業月數作況及業程等ヲ參酌セル甲ノ見込額ヲ支給ス前條各號ノ場合モ亦同シ但シ甲ノ爲メ損害賠償額ヲ控除スルヲ妨ケス

第十八條 契約ヲ解除スルカ又ハ契約ノ更新ヲ認メサルトキハ乙ハ契約終了ノ日ヨリ一箇月以内ニ乙ノ住居ヲ明渡スコトヲ要ス

前項ノ期間經過スルモ乙カ甲ノ經營地内ニ構設シ又ハ持込ミタル物件ヲ撤去セサル爲事業上支障アル場合ハ甲ハ撤去其ノ他適宜ノ處置ヲ爲スコトヲ得

右契約ヲ證スル爲メ本證ニ一通ヲ作り當事者双方各自一通ヲ保有スルモノ也

大正 年 月 日

大阪市北區堂島北町二十番地

合名會社藤田組

指定代理人兒島農場長 何 某 ㊦

岡山縣兒島郡 村字 番地

耕作人 何 某 ㊦

岡山縣兒島郡 村字 番地

右保證人 何 某 ㊦

四 其ノ他特種小作證書

二二二

（島根縣 株小作ニ關スルモノ）

小作掛受契約證書

何郡何村大字何

何地内

一、段別

何程

但境界ハ自他ノ區別嚴重ニ相守違亂無之様注意可仕事

此掛受米

何程

右ノ段別正ニ掛受左ノ件々誓約ス

一、耕作ノ儀ハ充分ニ出精シ可成作方ニ改良ヲ加ヘ土地荒瘠セサル様注意可仕事

一、掛米ノ儀ハ毎年十一月三十日限リ少シモ無滞貴殿ノ御差圖ノ場所ヘ着ケ渡シ約定ニ候且期限滞納候節ハ

連署ノモノ連帶義務ヲ負擔シ一ヶ年二割ノ利子ヲ附原利御請求ニ隨ヒ拂出可申候

一、掛受米上納ノ定額アリト雖若シ天災ニ罹リ非常ノ凶作等ニ遭遇スル場合ニ御テハ御検査ノ上相當減額可

被成候事

一、前記ノ如ク契約スト雖若定約ニ背クコトアルトキハ土地御引揚相成候トモ不苦素ヨリ地主ニ於テ御入用ノ節ハ何時ナリトモ土地返却可仕モノトス

但シ此場合ニ於テモ滞納ニ係ル原利米ハ連帶者負擔シテ辨償スルハ勿論ノコト

一、掛受米皆納ニ至ラサル内ハ毛上勝手ニ他ヘ向出穀セサルモノトス

一、監守スヘキ山野地ノ境界ハ嚴重ニ取計聊違亂ナキ様注意可仕事

一、小作附屬物件ハ別紙ヲ以テ差入置候

一、此約定證書受戻ササル中ハ猶土地掛受ノ效アルモノトス

年 月 日

郡 村大字 番地

小作掛受人 何 某 印

郡 村大字 番地

保證人 何 某 印

郡 村大字 番地

保證人 何 某 印

飯石郡

村大字

地主何 某殿

(別紙)

小作附屬物件ニ關スル證

一、本家 何々葺 桁行八間五分 梁行三間五分

壹棟

一、納屋 同上

壹棟

外ニ雪隠

附屬品

雨戸 拾枚

障子 八枚

長三枚 納戸一枚 玄關三枚

後口一枚

大戸口一枚

小平口一枚

表三枚 納戸一枚 玄關三枚

大戸口一枚

厩錠 一個

外ニ戸柵 一間半 上下戸六枚

表込戸 四枚 但横棧

納戸込 一間五分 但戸ナシ

一、唐 箕

壹個

一、千 葉

壹個

一、鍬

壹丁

一、万 鋏

大小

貳個

一、熊 手

壹個

一、田 白

壹個

一、橋 子

貳個

一、肥 柄杓

壹個

一、肥 擔桶

壹荷

一、駄 半切

大半切 壹個

參 駄桶 壹個

一、蕙 子

拾參枚

一、唐 子

貳個

一、厩 肥

參百荷

一、藁

百五拾把

一、稻梁道具

貳拾貳間分

一、何 々

右ハ吉田村大字吉田字杉戸何屋(附號)小作付トシテ付渡シ相成リ正ニ預リ申候就テハ該物件ハ嚴重保管可仕萬一御都合ニヨリ小作人入替被成候時ハ返戻可仕候爲後日保證人連署ノ上預リ證一札入レ置候
以上

大正 年 月 日

飯石郡吉田村大字吉田村

小作掛受人 何

某 ㊦

同

保證人 何

某 ㊦

同

保證人 何

某 ㊦

飯田郡吉田村

地主 何

某 殿

一一一一三

(廣島縣 株小作ニ關スルモノ)

小作受卸契約證書

一、今回小作受卸ニ付左記事項契約仕候

契約事項

- 一、大正十二年二月ヨリ大正十五年十二月迄小作受卸ヲ契約ス
- 一、小作米ハ一ヶ年田畑總計十六石七斗トス
- 一、小作米ハ毎年十二月十日限渡スモノトス
- 一、小作米ハ實地作付シタル品種ノ各種ニシテ調製乾燥俵裝四斗俵等ハ丁寧ニナスモノトス
- 一、小作米ハ糶摺ノ都度内渡ヲナシ品質ハ中米以上トス
- 一、天災地變等ノタメ凶作ノ時ハ實地檢査ノ上小作料ヲ減額スルコトアルヘシ
- 一、總テ屋根葺及之ニ要スル繩ハ小作者ノ所有トス屋根葺賃ハ地主支辨トシ平夫ハ小作人引受トス
- 一、道路修繕及井堰ニ要スル夫役ハ地主ヲ代表シ小作者ノ無給服役スルモノトス
- 一、講中ノ服務ハ地主ヲ代表シテ小作者之ヲ務ム但シ一回ニ付米一斗ヲ地主ヨリ支給スルモノトス

一、堤防其他畦畔等破壊シタルトキハ其修繕ニ要スル材料ハ地主ニ於テ支辨シ一人以下ノ平夫ハ自辨トス

一、小作者ハ契約解除ノ年左記田畑ニ麥ヲ植付クルモノトス
一、田 二反五畝歩 一、畑 全部

一、左記ノ什器ハ貸與シ其修繕ハ小作者ニ於テナス契約解除ノ節保證人二人以上立會ノ上器具ノ檢査ヲナシ修繕ノ必要アラハ小作者ニ於テ修繕ノ上引渡スモノトス

- | | | | | | |
|------------|----|--------|------|--------|----|
| 一、岐 鋏 | 二挺 | 一、肥立 | 一挺 | 一、ホーク | 一挺 |
| 一、馬 鋏 | 二挺 | 一、斧 | 二挺 | 一、唐 箕 | 一基 |
| 一、千石通 | 一臺 | 一、稻 扱 | 二挺 | 一、麥 扱 | 二扱 |
| 一、平口釜 | 一個 | 一、押 切 | 二挺 | 一、蓆 | 百枚 |
| 一、手 桶 | 二個 | 一、駄 桶 | 三個 | 一、斗 桶 | 三個 |
| 一、ソーケ | 一個 | 一、三升炊釜 | 一個 | 一、壘 | 六枚 |
| 一、漬物桶 大二小一 | | 一、肥 桶 | 一個 | 一、大 桶 | 四個 |
| 一、負 木 | 二個 | 一、牛 鞍 | 大小二個 | 一、米トウシ | 一個 |
| 一、糶 籠 | 一個 | 一、糶トウシ | 二個 | 一、苗 籠 | 三荷 |

一、肥料ハ總テ有機質肥料ヲ原肥トシ無機質肥ヲ補助肥トス

一、堆肥原料ノ芝草ハ地主ニ於テ一ケ年大凡三十駄以上ヲ供給ス

一、小作者炊事用トシテ一ケ年割木大凡三坪板木十五駄地主ヨリ供給ス

一、焼土材料トシテ一ケ年ニ當リ枝木大凡二十駄ヲ供ス

一、芝草割木枝木ヲ地主所有山林ヨリ伐採スルトキハ指圖ヲ受クルモノトス

一、小作期間中途ニ於テ双方何レカ違約ノトキハ違約者ヨリ金一百圓也ヲ提供スルモノトス但シ事情止ムヲ得サルトキハ協議ノ上處決スルコト

一、蓆ハ毎年二十枚宛小作者ニ於テ新調スルモノトス

一、地主ノ耕作地ノ準備仕事ハ小作者ニ於テ引受地主ヨリ一ケ年ニ當リ米四斗ヲ仕拂フモノトス
右契約事項堅ク相守リ可申爲後日保證人連署ノ契約書如件

耕作田畑左記ノ通

神田村字篠何番地

一、田 何反何畝歩

此ノ契約書ニ通ヲ作成シ双方所持スルモノ也

年 月 日

神田村大字上徳良

地主 何 某 ㊟

村大字

小作者 何 某 ㊟

保證人 何 某 ㊟

二二四

山林借用證書(長野縣)

中澤村字 何 何番

山林反別 何反ノ内 何々

此ノ肥料採收料一ヶ年玄米 何々

拙者肥料採收ノ爲メ大正何年ヨリ大正何年迄滿何ヶ年間前記山林貴殿ヨリ借用申候所確實ナリ期

限中ハ前記採收料ハ米質佳良ナル物ヲ以テ毎年十二月一日ヲ限リ相違ナク支拂可申候且ツ期限内
火災等ノ爲メ産額減少候トモ採取料ハ前記定メノ通り差上更ニ減額ノ請求致ス間敷候借用地内ニ
於テ炭焼若クハ灰焼ヲ爲サント欲スル時ハ巡查駐在所ヘ必ス届出申スヘク無届ニテ火入レ等決シ
テ致ササルハ勿論防寒ノ爲メ止ムヲ得ス焚火ヲ爲ストキハ充分注意シ他ヘ延焼セサル様相當設備
ヲ致ヘク且ツ烈風ノ際ハ如何ナル場合ト雖モ更ニ火氣ヲ相用ヒ間敷候若シ右ノ手續ヲ履行セス怠
慢上ヨリ失火セシ場合ニ於テハ借用地以外ニ係ル焼失ノ損害ハ直ニ被害者ヘ對シ賠償可仕候本人
ニ於テ採收料支拂兼ネ若クハ不都合ノ所爲等ニテ貴殿ヘ御損害ノ懸ル場合ハ速カニ受人辨償仕ル
可ク後日ノ爲メ受人連署借用證仍テ如件

大正 年 月 日

中澤村 何 番地

借用人 何 某 ㊟

中澤村 何 番地

受人 何 某 ㊟

中澤村

地主 何 某 殿

二二五

(長野縣 田畑以外ノ小作)

土地賃貸契約證書

一、土地ノ表示

長野縣上高井郡高井村大字牧字湯澤瀧澤番外一番ノ一
第二十號一ノ瀬第二十一號神島

一 原野合計反別二十八町四反二十五步
別紙每筆目錄及圖面添付

二、賃貸借ノ目的

賃借人ノ營林事業又ハ秣草採收

三、賃貸借契約事項

一 賃貸存續期間ハ大正八年三月十一日ヨリ大正二十七年十二月三十一日迄滿二十ケ年トス

但シ大正八年ハ一ケ年ニ滿タサルモ一ケ年ト計算ス

二 前項ノ期間賃借人ニ於テ本契約ノ義務ヲ誠實ニ履行シタルトキハ本契約ノ條件ヲ以テ更ニ二十箇年間
契約ヲ更新ス

三 第二回更新契約期間賃借人ニ於テ其ノ契約ノ義務ヲ誠實ニ履行シタルトキハ其後更ニ二十箇年間同一
條件ニ依リ其契約ヲ更新ス

四 土地賃貸料ハ前納トシ一ケ年水稻粳粍五斗三升入ノ八俵零分六厘ヲ前年十二月一日ノ時價ニ換算(時
價ハ賃借人之ヲ定ム)シ同月中賃借人ノ指定シタル期日及受取人ニ納入スルモノトス

五 賃貸借地域内ニ於テ賃借人ハ道路ヲ開通スル必要アリト認メタルトキハ賃借人ハ其部分ニ限り返地ス
ヘキモノトス

但返地ヨリ生スル損害ハ賃借人ヨリ補償スルモノトス

六 賃借人賃貸土地ヲ目的以外ニ使用セントスルトキハ賃借人ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス

七 賃借人ニ於テ第四項乃至第六項ノ一部又ハ全部ヲ違背スルノ行爲アリタルトキハ賃借人ハ法定ノ催告
ヲ要セスシテ直ニ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ

八 賃借人カ第七項ノ契約解除ヲ執行シタルトキハ賃借人ニ對シ契約期間中殘餘ノ年數三分ノ一ノ賃貸料
ヲ違約金トシテ請求スルコトヲ得但違約金ノ計算ハ解除前最後ノ納入シタル賃貸料一ケ年分ヲ標準ト
シ其年月數ヲ乘ス

九契約満期又ハ第七項ノ契約解除トナリタル場合ニ於ケル地上産物及附屬物ハ悉皆有形ノ儘賃貸人ノ有ニ歸ス

但此ノ場合ニ於テ賃借人ハ何等ノ補償代價ヲ請求スルコトヲ得ス
十契約満期ノ際賃借人ニ於テ官廳ノ指示命令又ハ監督ニ依リ伐採不可能トナリタル場合ニ於ケル地上産物ハ賃貸人ノ定ムルトコロニヨリ其地上産物ノ補償金ヲ賃貸人ヨリ賃借人ニ支拂フモノトス

右契約ヲ締結ス之ヲ證スルタメ正本ニ一通ヲ作り各其一通ヲ保存ス

但シ本件契約ハ賃貸借兩者ノ關係町村會並ニ組合會ノ議決ヲ經町村制第四百十七條ノ許可ヲ受ケタルモノナリ

大正八年三月十日

賃貸人

上高井郡高井村外一町五ヶ村

共有土地管理者

上高井郡高井村外一町五ヶ村組合長

高井村長 何

某 ㊶

賃借人

上高井郡豊洲村長 何

某 ㊶

二二六

（東京府砂糖製造地方ノ證書）

小作契約證

小笠原島父島袋澤村宇時雨山選谷港上土地十一筆

一、土地 四町三反二畝歩

一、家屋二棟 但居宅及製造場有形ノ儘

以上

右ハ今回志村某所有ノ土地家屋渡邊某ニ於テ小作契約締結候ニ付テハ左ノ各項確守履行可致候事

一、地所小作期限ハ大正六年五月ヨリ同十六年四月迄向フ十ヶ年トシ満期後ハ有形ノ儘速ニ返地可仕候事

二、小作期限内總テ畑地整理保存方ニ注意スルハ勿論作付物ハ地主ノ承諾ヲ得植付可致事

一、小作地料ハ一ヶ年砂糖收穫高ノ二割ト相定メ毎年製糖ノ都度納付可致候事

一、小作年限内收穫物ノ砂糖ハ時ノ相場ヲ以テ地主ニ賣渡シ又ハ委託販賣スルモノトス
 一、小作期間中小作料ハ年ノ豊凶ニ不係納入シ決シテ小作人ヨリ其ノ年ノ凶作ニ出會スルモ地料ノ減額ヲ要
 求致間敷候事

一、小作期限中ハ小作人ニシテ牛ヲ飼育セサルト雖モ耕地ノ地形ニヨリ地主ニ於テ土留ノ必要ト認ムル個所
 ニハ秣ヲ植付保育スルモノトス

但シ此場合ハ地主ノ臨檢ヲ得テ其ノ指揮ニ從ヒ實行スルモノトス

一、小作年限中ト雖モ小作人カ地主ニ對シ此ノ契約ニ違背シ又ハ小作料ノ納付ヲ怠リ候節ハ何時畑地有形ノ
 儘御取上解約相成候共聊カモ異議申間敷候事

一、小作地ノ周圍ニアル立木ハ勿論枯損木ト雖モ猥ニ伐採スル事ヲ不得若シ必要ノ場合ハ地主ノ承諾ヲ得テ
 後伐木スル事

右耕地借用契約相違ナキ證據トシテ本書差入置候也

大正六年五月 日

小作人 何 某
 保證人 何 某

地主 何 某殿

索引

本索引ハ證書實例中ノ約款ニ於テ稍々特例的ナモノト見ルベキモノヲ見出ニヨツ
 テ分類シ其ノ下ニ證書ノ番號ヲ示シタモノデアアル

一季小作

一三、一四、一五、

永小作權ノ處分

二〇三、二〇四、二〇九、二一〇、

極メテ簡單ナルモノ及比較的簡短ナルモノ（證書全體
 トシテ簡單ナルモノ）

九、一六、二一、二三、二五、三一、三三、四五、

五八、六〇、六七、七五、七九、八八、九九、一四

一、一五四、一五八、

契約解除

一、三、一二、二〇、二二、二四、三〇、三一、三

六、三八、四八、五四、五五、五六、五七、六二、

六四、六九、七二、八〇、八二、八五、八九、九五、

九六、九七、九八、一〇三、一〇四、一〇八、一一
 一、一一二、一一三、一一六、一一八、一二〇、一
 二二、一二三、一二六、一三七、一四〇、一四二、
 一四三、一四六、一四九、一五七、一六〇、一六一
 甲、一六二、一六四、一六五、一〇七、一六八、一
 七〇、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、
 一八三、一八四、一八六、一八七、一九〇、一九二、
 一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、
 一九九、二〇一、二〇三、二〇五、二〇七、二〇九、
 契約更新（主トシテ更新ヲ認メタルモノ）繼續
 八、一二、一八、二九、三五、三六、四二、四九、
 五七、六二、六三、七三、七四、八四、一〇五、一
 〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一三、一一六、

一二六、一二七、一三三、一三五、一五〇、一五九、
一六一甲、一六七、一七八、一七〇、一七一、一七
三、一七四、一七六、一七七、一七八、一八〇、一
八六、一八七、一九〇、一九一、一九二、一九四、
一九五、一九六、二〇三、二〇七、

檢見(特ニ委シク定メタルモノヲ表ス)

一二、三六、一一三、一八四、一九一、一九三、
公正證書
四四、

小作期間(主トシテ期間十ヶ年)

一八、一九、八五、八六、九三、九九、一二六、一
二八、一三三、一三四、一三五、一三九、一六四、
一七七、一八〇、一八六、一八九、

小作權ノ賠償又ハ作離料支給

五五、七二、

小作地反別

八三、

小作地ニ係ル負擔

一四、一五、二九、三〇、五五、五九、六一、六二、

七四、七五、八一、八二、八三、八六、八九、九〇、

九二、九四、一〇二、一〇六、一〇七、一二三、一
二七、一三一、一三六、一四四、一四五、一四六、
一四八、一五三、一五七、一六〇、一六九、一七〇、
一八五、一八六、一八八、一九二、一九三、二〇九、
二一〇、

小作地賣買ノ際ノ處置

三六、四四、一三二、一六六、一七六、一七七、一
九〇、一九四、

小作地使用ニ關スル制限(小作地ノ外立毛收穫物肥料
等ニ關スル制限モ含ム)

一二、二四、三〇、四七、四八、五二、五四、五六、
五七、六一、六二、六四、七〇、七八、八六、九七、
九八、一〇二、一二四、一四五、一六五甲、一六二、
一六三、一七二、一七三、一八三、一九〇、一九二、
一九四、一〇五、一九九、二〇八、

小作料滞納ノ處置

一、二、六、八、二〇、二七、二九、三四、三八、
四二、四四、四七、四八、五三、五六、七四、八〇、

一〇三、一〇四、一〇五、一〇八、一一一、一一二、
一一三、一一七、一三〇、一三三、一三五、一三六、
一三七、一四二、一四九、一五六、一六六、一六九、
一七一、一七三、一七五、一七八、一八四、一八五、
一八六、一八八、一九七、二〇一、二〇九、

小作料改定

六一、八〇、一一八、一三七、一六一甲、一六二、
一七二、一七五、一八三、一八六、一九一、一九四、
一九五、一九六、二〇五、二〇七、

小作料ノ額

一〇三、一七二、一九四、

小作料代金納ノ場合ノ取扱

五四、六九、一〇一、一五一、

小作料納期

二、一二三、一四八、

小作料納入ノ場所(主トシテ地主指定ノ場所ニ納ムル
モノ)

一一、一四、一五、一六、一九、二〇、二五、二六、
二七、三五、五〇、五四、五六、七一、七五、八二、

八九、一〇七、一〇九、一二二、一三四、一四四、
一四六、一四九、一五〇、一六八、一六九、一七〇、
一七一、一七四、一七五、一七六、一七九、一八三、
一八六、一七七、一九八、

小作料ノ俵裝

一一、三〇、四〇、九〇、一一五、一四八、一四九、
一五五、一六九、一七九、

小作料ノ運賃

二〇、一三二、一五〇、一八五、一九七、

小作料ノ品質

三〇、八四、九六、九七、九八、一〇七、一一一、
一一六、一一七、一二〇、一二一、一二四、一四〇、
一五〇、一五一、一五七、一六八、一七一、一八六、
一九九、

小作料ノ種類

四四、五一、五二、五三、六八、一〇一、一四二、
一七七、

小作料ノ擔保

六二、六九、一一一、一二二、一二三、

催告手数料又ハ督促手数料

二九、七三、

獎勵米又ハ獎勵金

二〇、三六、三七、四四、一一六、一三八、一六四、

一七二、一八六、一九一、一九三、一九四、一九六、

訴訟管轄裁判所

二九、三四、三八、五一、五三、五五、五七、六一、

六四、七四、九七、一一七、一四三、一四九、一六

一甲、一六二、一六九、

貸借契約ノ明示

一一八、

通知

一〇五、一一八、

不作時ノ小作料減額

二、一一、一九、二〇、二二、二七、二八、二九、

三六、五二、六四、六五、六九、七三、八〇、八三、

九一、九八、一一一、一一六、一二一、一二二、一

二三、一二六、一二八、一三一、一四八、一六四、

一六七、一六八、一七〇、一七四、一七九、一八三、

一八六、一八七、一九〇、一九一、一九二、一九三、
二〇一、

米穀検査費用

一一六、一二三、

保證人ノ責任

一一一、一六九、

昭和四年三月二十三日 印刷
昭和四年三月二十五日 發行

定價 金壹圓八拾錢

農林省農務局藏版

株式會社帝國地方行政學會代表者

大谷仁兵衛

東京市京橋區加賀町九番地

井田耕治

東京市京橋區加賀町九番地

行政學會印刷所

東京府荏原郡荏原町戸越五百五番地

小作證書
實例集
奧付

印刷所

發行所

東京市京橋區加賀町九番地
振替口座東京一三番

帝國地方行政學會



